

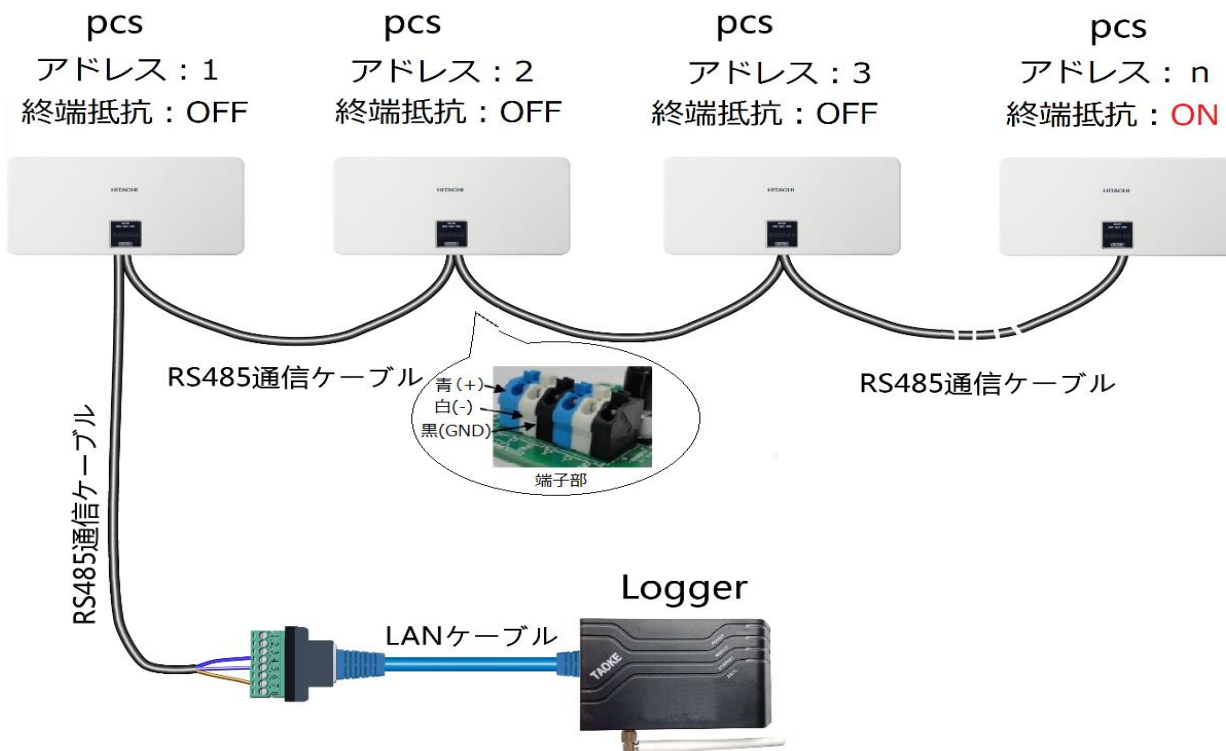
**日立製低圧パワーコンディショナ RS485 通信接続**

概要：このマニュアルは日立製パワーコンディショナ HSS-P40DMT/P40DMT15/P55DMT/P55DMT15/PS49DMT/PS49DMT15/PS59DMT/PS59DMT15/P40BHT/P40BMT/P40BST/P55BHT/P55BMT/P55BST 製品に対応しています。

注意：工事の際には、各パワコン付属の施工マニュアル（施工説明書）も併用ください。

□SmartPV の仕様上、最大接続台数は 12 台までです。

通信ケーブル：ビニルキャブタイヤ丸型コード VCTF 3 芯（導体サイズ撚り線 0.3 ～ 1.2 mm<sup>2</sup>）相当  
全体の接続・設定イメージ



ケーブル接続

パワコン側	データロガー側	パワコン側	変換コネクタ
D+	④	D+	④485+ (A)
D-	⑤	D-	⑤485- (B)
GND	⑦	GND	⑦GND

パワコン設定

□1、アドレスコードの設定方法

1、運転切替スイッチを「停止」にしてください。

2、アドレスを設定します。

①、停止状態で「mode」キーを 2 回押し表示部に「Svc」を表示させた後、[enter]キーを 1 回押ししてください。

②、「mode」キーを 3 回押し表示部に「nET」を表示させた後、「enter」キーを 1 回押ししてください。

③、その後、表示部に「HI t-01」が表示されます。「mode」キーを 1 回押しして表示部に「HI t-02」を表示させた後「enter」キーを 1 回押ししてください。

## ④、表示部に「1」（子局番号）が表示されます。

この数値がパワーコンディショナのアドレスとなります。

「up」キーまたは「down」キーを押し表示部にパワーコンディショナのアドレスとして割り付けたい数値を表示させてください。

「up」キーを押すと数値が増加していきます。「down」キーを押すと数値が減少していきます。

アドレスとして設定可能な数値は「1」～「9」までの9種類（9台分）です。

※出荷時は初期値として「1」が設定されています。

⑤、表示部にアドレスとして割り付けたい数値を表示させた後、「enter」キーを1回押すとパワーコンディショナのアドレスが設定されます。

⑥、「esc」キーを3回押し表示部に「・・」を表示させてください。以上でパワーコンディショナのアドレス設定は完了です。アドレスを変更する場合も同様に①項からの操作を行ってください。

※異なるパワーコンディショナに同じアドレスを設定すると監視及び出力制御システムは正常動作できません。必ず「1」から順番に異なるアドレスを設定してください。

## 3、端子カバーとフロントカバーを固定してください。

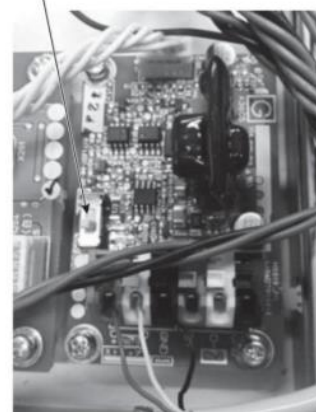
外して置いた端子カバーをネジ1本、フロントカバーをネジ2本で固定してください。

## □2、終端抵抗の設定

ロガーと最も離れたPCSのみ終端を「オン」にしてください。

右側の写真をご参考ください。

終端スイッチ



## ➤ 補足

※全ての設定が完了後、直流、交流全てのブレーカーを OFF にし、LED ランプ等が完全に消灯するのを確認し、再起動してください。再起動後、設定が反映されます。

◆ 以上でパワコン接続・設定は終了です。

お問い合わせ

□データロガーのシリアル番号 □型番TK-××-●●  
をご確認のうえ、メールまたは電話にてお問い合わせくださいませ。

service@smartpv.co.jp / 03-3490-6518

SmartPVサービスサイト

マニュアルダウンロード／製品・会社  
情報

http://www.smartpv.jp/

http://www.smartpv.co.jp/